

瑞穂まちづくり協議会だより 第19号

会長あいさつ



会長 鈴木 定夫

令和6年度に瑞穂まちづくり協議会長に就任いたしました。鈴木と申します。就任にあたりまして一言ご挨拶申し上げます。

瑞穂まちづくり協議会は、香取市まちづくり条例に基づき、平成24年11月に、区長会や地区社協をはじめ、瑞穂地区の各種団体の役員や委員などが構成員となり、佐原地域では4番目の住民自治協議会として設立され今年度で12年目になります。本協議会の活動の目的は、地域の住民や各種団体などが連携・協力し、様々な活動にチャレンジしていくことで、住みよい地域づくりはもちろん、地域への愛着や誇りがより一層深まることが期待されております。

現在、佐原地域では10地区、小見川地域で5地区、山田地域も5地区、栗源地域で3地区の計23地区で協議会が地域のための協議会活動を実施しております。

協議会に対する市の財政的な支援制度として、協議会の活動に係る経費について補助金が交付されています。当地区に対する今年度の補助金額は937千円となっております。

終わりに、設立以来鋭意努力してまいりましたが、今後も役員一同知恵を出し合い、瑞穂地域の特性を活かしながら事業を展開してまいりますので、地域の皆様の行事に対する御意見並びに御参加の程、よろしくお願ひ申し上げます。

令和6年度の総会を開催しました。

令和6年度瑞穂まちづくり協議会の総会は、令和6年5月12日（日）午後7時から、みづほふれあいセンターを会場に、委員28名の多人数の参加を持って開催されました。瑞穂地区の区長さんをはじめ各種団体の代表者が一堂に会し、会場の奮囲気は熱気に包まれました。説明にも力が入り、本年度の主な事業となる交通危険箇所に

注意看板の設置をはじめ、瑞穂小学校との連携行事、それに健康ウォーキング大会の開催などを実施することになりました。御審議ありがとうございました。



目	● 会長あいさつ	● 総会の開催 P1
	● 事業計画	 P2
	● 役員名簿	 P3
次	● 部会構成名簿	● 瑞穂の歴史 その11～県内最古の板碑～ P4

令和6年度 瑞穂まちづくり協議会 事業計画

(単位：円)

事業名	実施主体	事業概要	実施期間(予定)
① 広報紙の発行	地域振興部会	協議会活動や地域の身近な題材を取り上げた広報紙を発行することにより、地域住民に対して地域の各種情報を提供する。 【年2回を予定】	令和6年度予算 通年 200,000円
② 地域の防災体制確立及び防災意識の啓発	地域振興部会	防災意識の高揚と地域ぐるみの防災活動を推進するため、各区の区長等や地域住民を対象とした、「いざという時、どうしたらよいか」を学ぶ勉強会及び訓練等を実施する。	通年 69,000円
③ 交通危険箇所表示看板の設置	地域振興部会	地区内の交通危険箇所について点検し、注意表示看板を設置することにより交通事故のないまちづくりを行う。	通年 200,000円
④ 小学校行事との連携	福祉子ども部会	地域で子どもたちを育むとともに、世代間交流を通じて地域住民とのふれあいや信頼関係を創出する。 小学校と連携し、学校を会場とした児童と住民が集う行事を実施する。	11月22日 200,000円
⑤ 健康ウォーキング大会の開催	福祉子ども部会	地区住民の健康や郷土の知識・愛着を高めるために、地区的史跡等を巡るウォーキング大会を開催し、健康増進及び住民交流を図る。	10月中旬 198,000円
⑥ 総会及び役員会等の開催	理事会	協議会組織の円滑な運営を図るために、総会及び役員会等を開催するとともに、今後のまちづくりについて、幅広く意見交換を行う。	通年 70,000円
事業費合計			937,000円

令和6年度 瑞穂まちづくり協議会 役員名簿

(順不同・敬称略)

	役職	人数	氏名	所属団体等	地区
1	会長	1名	鈴木 定夫	2号委員	寺内
2	副会長	2名	齋藤 利彦	西部田6年度区長(瑞穂地区区長会長)	西部田
3			鶴崎 清治	鶴崎区防犯パトロール隊	鶴崎
4	事務局長	1名	加瀬 栄	2号委員	谷中
兼	会計	1名	(加瀬 栄)	2号委員	谷中
5	監査	2名	佐々木 竹彦	2号委員	みずほ台
6			鶴崎 恒雄	交通安全協会瑞穂支部長	寺内
7	理事	20名	藤原 秀幸	堀之内区 6年度区長	堀之内
			(加瀬 栄)	谷中区 6年度区長	谷中
8			根本 一也	寺内区 6年度区長	寺内
9			中田 肇	寺内芝区 6年度区長	寺内芝
10			明石 章	鶴崎区 6年度区長	鶴崎
11			鈴木 博弥	西和田区 6年度区長	西和田
12			藤田 好克	西坂区 6年度区長	西坂
			(齋藤 利彦)	西部田区 6年度区長	西部田
13			柳田 恵司	みずほ台自治会 6年度区長	みずほ台
14			齋賀 宗純	民生委員・児童委員	寺内
15			一鍬田 信吉	民生委員・児童委員	西和田
16			山形 陽子	主任児童委員	みずほ台
17			福迫 勝弘	青少年相談員	みずほ台
18			大堀 修央	瑞穂小学校PTA会長	みずほ台
19			細川 正雄	香取市消防団佐原第1支団 副支団長	寺内
20			栗林 利男	みずほ広域保全会西和田地区長	西和田

※氏名に青の下線のある方は、新たに役員になられる方です。

相談役	1名	飯島 健	規約第8条による	西坂
-----	----	------	----------	----

令和6年度 瑞穂まちづくり協議会 部会構成各簿

地域振興部会 (順不同・敬称略)			
番号	部会構成団体等	構成員氏名	備考
1	寺内芝自治会長	中田 肇	
2	堀之内区長	藤原 秀幸	
3	谷中区長	加瀬 栄	
4	寺内区長	根本 一也	
5	鴨崎区長	明石 章	
6	西和田区長	鈴木 博弥	
7	西坂区長	藤田 好克	
8	西部田区長	齋藤 利彦	
9	みずほ台自治会長	柳田 恵司	
10	みずほ広域保全会 西和田地区長	栗林 利男	副部会長
11	交通安全協会	鴨崎 恒雄	
12	消防団	細川 正雄	
13	消防団	北崎 稔	
14	鴨崎区防犯パトロール隊	鴨崎 清治	部会長
15	みずほ台防犯パトロール隊	都丸 直生子	
	市(地区担当職員)	篠塚 真悟	
	市(地区担当職員)	堀内 雄高	

※氏名に緑の下線のある方は、新たに役員になられる方です。

福祉子ども部会 (順不同・敬称略)			
番号	部会構成団体等	構成員氏名	備考
1	2号委員	鈴木 定夫	部会長
2	2号委員	加瀬 栄	副部会長
3	民生児童委員	齋賀 宗純	
4	民生児童委員	一鍬田 信吉	
5	主任児童委員	山形 陽子	
6	青少年相談員	福迫 勝弘	
7	青少年相談員	小倉 智則	
8	瑞穂小学校PTA会長	大堀 修央	
9	瑞穂小学校PTA副会長	石松 愛	
10	瑞穂小学校PTA副会長	川中子 祐美	
11	スポーツ推進委員	高柴 寿広	
12	スポーツ推進委員	三田 義明	
	鴨崎区防犯パトロール隊	(鴨崎 清治)	
	市(地区担当職員)	小倉 智則	
	市(地区担当職員)	松本 博樹	

※氏名に緑の下線のある方は、新たに役員になられる方です。

瑞穂の歴史 その11～「県内最古の板碑」～

生者必滅は世の習いで、避けることができません。飛鳥時代を過ぎると古墳は作られなくなります。その後は、村の外れに墓地(らんとば)がつくられます。墓地は村落共同体の成り立ちと関係の深い共同墓地と個人墓地があります。

板碑とは、鎌倉時代から室町時代前期にかけ、造立された石造りの供養碑(塔婆)で、梵字(ぼんじ) = 種子(しゅじ) や被供養者名、紀年銘、供養内容を刻んだものです。鎌倉時代になると、諸宗が布教し、在地領主や民衆に浸透し、墓地やお寺、あるいは屋敷周りに板碑が設置されるようになります。趣旨は、死者を追善供養するものと、願主自身が生前死後の法事を営み供養する逆修、また信仰の対象仏として造られたものがあり、中世の仏教文化を代表するものです。

瑞穂地区内の板碑は48基(他に紀年銘不明のもの18基)あります。材石は、大部分が筑波山から産出される黒雲母片岩を運んできた下総式板碑と呼ばれるものです。この中で『瑞穂郷土史』(平成11年完成)調査中に鎌倉時代中期、正嘉2年(1258)2月2日付けの県内で最古の板碑が、谷中地区の旧大須賀川本流の清兵衛ダシ側の椿宅庭で発見されました。この板碑は、高さが170センチもある大きさで、形式も良く整い、この後の同型の先駆的で貴重なものとして、県指定文化財に登録されました。現在は屋敷神として祀られています。

寺内光福寺には、開山板碑と言い伝えられている文永5年(1268)の板碑があります。銘文には「阿闍梨」とあり、これは光福寺中興開山蔵叟朗誉(臨濟宗三世)を指し、高僧朗誉が師栄朝の追善供養のため造立したものです。

造立内容をみると、阿弥陀種子が一般的ですが、不動明王を図像化した板碑が3基(寺内共同墓地・同区滝不動 = 市指定文化財・西和田字不動山)あります。また、西部田常蓮院跡には朱泥の痕跡の残された板碑が1基あります。

なお、石のない当地方では古墳の石室に使用されたものを板碑に再利用したり、戦国時代以降急激にすたれると、今度は、寺内光福寺の山門のように土台に利用されたり、用水の蓋などに転用されているものもあります。

問合せ
連絡先

佐原市民活動支援センター

電話 50-1213 FAX 54-7708
E-mail casc.sa@city.katori.lg.jp